

着々と・・・

約2年前、2016年12月
高速炉開発会議に「戦略ワーキンググループ」というのが設置されました。
そして着々と議論(?)が進んでいます。
これまでに13回会議が開かれてますが、どんなことやってるか？
ちょっと覗いてみましょう。(参考資料①)

各回の議事次第を
抜き出します。

ちなみに・・・
「高速炉開発会議」っていうのは
経産省内に2016年10月に設置され、
経産大臣が議長で
今後の高速炉開発方針案の検討・策定を行う
会議です。
(参考資料②)

第1回 2017年3月30日

- 戦略ロードマップについて

第2回 2017年6月15日

- 有識者からのヒアリング

「高速炉の研究開発について」

近藤 駿介 原子力発電環境整備機構理事長

「高速炉開発の戦略について」

山口 彰 東京大学大学院教授

第3回 2017年7月4日

- 有識者からのヒアリング

「Advanced Nuclear Energy R&D Needs,
Status, Observations」

ウィリアム・マグウッド OECD 原子力機関事務局長

第4回 2017年9月14日

- 中国の高速炉開発の状況について

- 有識者からのヒアリング

「The Progress of the Gen-IV Reactor in China」

ヤン・ホンイー 中国原子能科学研究院 原子炉工学技術部長

第5回 2017年10月31日

- ロシア・インドの高速炉開発の状況について

参考資料

①経産省HP 高速炉開発会議 戦略ワーキンググループ

第1回～第10回

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/energy_environment.html

第11回～

http://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/kosokuro_kaihatsu/kosokuro_kaihatsu_wg/index.html

②経産省HP 高速炉開発会議 (第1回会合) - 配布資料「高速炉開発会議の設置について」

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/energy/fr/001_haifu.html

第6回 2017年12月6日

○有識者からのヒアリング

「社会に受容される高速炉開発の進め方」

笠原 直人 東京大学大学院教授

第7回 2017年12月19日

○有識者からのヒアリング

「高速炉の安全性について」

可児 吉男 東海大学 客員教授

第8回 2018年3月1日

○米国の高速炉開発の状況について

第9回 2018年4月25日

○ヒアリング(原子力委員会)

「技術開発・研究開発に対する考え方」

「原子力利用に関する基本的考え方」

第10回 2018年6月1日

○仏国の高速炉開発の状況について

○高速炉に関するこれまでの技術開発について

第11回 2018年7月26日

○研究基盤の考え方について

○ウラン資源の需給の現状について

第12回 2018年8月10日

○核燃料サイクル(再処理・燃料製造)の現状について

第13回 2018年10月17日

○ナトリウム冷却高速炉(MOX 燃料)以外の高速炉技術について

最後に一言

今回は議事のタイトルを並べただけです。ちょっと(?)手抜き。。。

っといのは置いておいて、核燃料サイクル推進について、着々と『議論』は進んでいます。

追々中身もチェックしていきたいと思えます。

本当はこんな議論の前に、

「そもそも」核燃料サイクルを推進するということの是非についての議論が必要なはずで

そして、核廃棄物というずっと未来まで影響するものを残す以上、技術・経済の話だけでなく、倫理的に許されるのかどうか(人としてやっていいのか?)という視点も必須のはずで